

事例

地域に根ざした自然養鶏から学ぶ命の食育活動
(第5回食育活動表彰 消費・安全局長賞受賞)

ささえたまご農園 (福井県)

ささえたまご農園では、平飼い養鶏を行いながら、鶏との触れ合いや卵料理作りを通して、生き物と自然環境とのつながり、生き物の命を頂くことの尊さや食べ物大切さを伝える体験プログラムを実施しています。

体験プログラムは、子供たちの食育への理解が深まるように次の順序で構成しています。

- ① 鶏との触れ合いと卵拾い体験で、産みだてのまだ温かい卵に触れ、鶏から生きている卵を分けてもらうことを体感してもらう。
- ② 拾った卵でプリンなどを作る。
- ③ 試食中に、卵の黄身の真ん中にある白い点が命の源の胚盤で、20日間温めるとヒヨコになることを説明する。

こうした体験を通して、子供たちは命と食のつながりを学んでいます。中には「ごはんを残さず食べられるようになった。」という子供もいます。

また、園内には一般社団法人全国料理学校協会加盟の料理学校が併設されており、大人向けの料理教室を実施しています。レシピや調理方法などの料理作りの基本を教えるだけでなく、食材に含まれる栄養素に関する情報や、農業が資源の循環に果たす役割なども伝えています。

農園だからこそできる特色ある食育活動を、より一層進めていきたいと考えています。



鶏との触れ合い



卵を通して命の大切さを学ぶ様子

第5章

生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等